

令和元年度

# 社会福祉法人春日園事業報告書

自 平成 31 年 4 月 1 日

至 令和 2 年 3 月 31 日



## 目 次

法人本部

養護老人ホーム春日園 特別養護老人ホーム春日園

各課（総務課・生活相談課・支援課・介護課・医務課・栄養課）

デイサービスセンター春日の家

かすがホームヘルパーステーション

特別養護老人ホーム春日園居宅介護支援事業所

小野上・子持地域包括支援センター

売電事業

各委員会報告

[理念]感謝 和合 奉仕

[実施事業]

養護老人ホーム春日園 (定員 50 名 短期 3 名)  
特別養護老人ホーム春日園 (定員 70 名 短期 10 名)  
デイサービスセンター春日の家 (定員 9 名)  
かすがホームヘルパーステーション  
特別養護老人ホーム春日園居宅介護支援事業所  
小野上・子持地区地域包括支援センター  
太陽光事業

[役員構成] 理事 6 名 評議員 8 名 監事 2 名

[会議]

○理事会

1 令和元年 6 月 4 日 出席 6 名 欠席 0 名 監事 2 名

議案第 1 号 平成 30 年度社会福祉法人春日園事業報告について  
議案第 2 号 平成 30 年度社会福祉法人春日園資金収支決算について  
議案第 3 号 社会福祉法人春日園就業規則の一部改正について  
議案第 4 号 社会福祉法人春日園給与規程の一部改正について  
議案第 5 号 評議員会付議事項・日程について  
報告 1 改元に伴う対応について  
報告 2 特別休暇付与について

2 令和元年 6 月 20 日 出席 6 名 欠席 0 名 監事 2 名

議案第 6 号 社会福祉法人春日園理事長選任について  
議案第 7 号 社会福祉法人春日園業務執行理事選任について

3 令和元年 12 月 18 日 出席 5 名 欠席 1 名 監事 2 名

議案第 8 号 養護老人ホーム春日園定員変更について  
議案第 9 号 社会福祉法人春日園就業規則の一部改正について  
議案第 10 号 令和元年度社会福祉法人春日園資金収支補正予算について  
議案第 10 号 評議員会付議事項・日程について  
報告 1 利用料金表の改正について (運営規程、重要事項説明書)  
報告 2 勤務インターバル制度の導入について

4 令和 2 年 3 月 10 日 出席 6 名 欠席 0 名 監事 2 名

議案第 11 号 令和 2 年度社会福祉法人春日園事業計画について  
議案第 12 号 令和 2 年度社会福祉法人春日園資金収支予算について  
議案第 13 号 社会福祉法人春日園就業規則 (正職員) の一部改正について  
議案第 14 号 社会福祉法人春日園就業規則 (パートタイマー職員・契約職員) の制定について  
議案第 15 号 社会福祉法人春日園就業規則 (嘱託職員) の制定について  
議案第 16 号 社会福祉法人春日園給与規程の一部改正について  
議案第 17 号 令和元年度社会福祉法人春日園補正予算について  
議案第 18 号 評議員会付議事項・日程について  
報告 1 養護老人ホーム春日園定員変更について  
報告 2 勤務間インターバル制度導入について  
報告 3 新型コロナウイルス感染症に係る職員対応支援について

○評議員会

1 令和元年6月20日 出席7名 欠席1名 監事2名

- 議案第1号 平成30年度社会福祉法人春日園事業報告について
- 議案第2号 平成30年度社会福祉法人春日園資金収支決算について
- 議案第3号 社会福祉法人春日園就業規則の一部改正について
- 議案第4号 社会福祉法人春日園給与規程の一部改正について
- 議案第5号 社会福祉法人春日園役員改選について
- 報告1 改元に伴う対応について
- 報告2 特別休暇付与について

2 令和2年3月25日 出席8名 欠席0名 監事2名

- 議案第11号 令和2年度社会福祉法人春日園事業計画について
- 議案第12号 令和2年度社会福祉法人春日園資金収支予算について
- 議案第13号 社会福祉法人春日園就業規則（正職員）の一部改正について
- 議案第14号 社会福祉法人春日園就業規則（パートタイマー職員・契約職員）の制定について
- 議案第15号 社会福祉法人春日園就業規則（嘱託職員）の制定について
- 議案第16号 社会福祉法人春日園給与規程の一部改正について
- 議案第17号 令和元年度社会福祉法人春日園補正予算について
- 議案第18号 評議員会付議事項・日程について
- 報告1 養護老人ホーム春日園定員変更について
- 報告2 勤務間インターバル制度導入について
- 報告3 新型コロナウイルス感染症に係る職員対応支援について

- 監事監査 第1回 令和元年5月29日 監事2名  
第2回 令和元年12月16日 監事2名

[トピックス]

- ・就業規則一部改正（公務員俸給表適用 昇給年齢引上げ 競業禁止）
- ・働き方改革への取組み（勤務時間インターバル制度の導入 有給管理 労働時間等設定改善委員会）
- ・介護職員等特定職員処遇改善加算取得
- ・教養講座 「罪を償ってきた高齢者・障害者の実態、支援の実態」  
群馬県地域生活定着支援センター所長 高津努（R2.2.6）
- ・お寺との関わり 「花まつり」「子ども禅の集い」「涅槃会」「お茶摘み」等

[固定資産取得支出に係る工事・物品等]

- ・ガス給湯設備工事（R1.7.31） 3,531,600円 養護
- ・給湯器増設（R1.6.30） 378,000円 養護
- ・耐火クロス製防火防炎スクリーン（R1.8.31） 1,620,000円 特養
- ・低床ベッド（R1.12.13） 921,239円 特養
- ・温冷配膳車（R2.1.14） 770,000円 特養

[職員状況] 令和2年3月31日現在

- ◇職員数 96名（正規65名 契約11名 パート19名 嘱託1名）（男性27名 女性69名）
- ◇平均年齢 45.8歳
- ◇平均勤続年数 7.00年
- ◇採用 13名（社会福祉士1名 看護職員2名 介護職員4名 介助員1名）
- ◇退職 7名（介護職員5名 支援員2名）

[安全管理]

- 1 毎月11日を防災の日とし、防災意識の啓発に努めた。
- 2 年2回の防災訓練を実施した。
- 3 事故防止委員会や衛生管理委員会を中心とし、安全管理に関する研修、啓発に努めた。

[委員会活動]

・7委員会（風紀接遇、事故防止、感染症対策、環境、看取り、衛生、広報）を組織し、職員が役割を分かち合い諸々の活動を行った。

[公益的な取り組み]

- 1 盆踊り大会の実施
- 2 ボランティアの受入れ 実習生、介護体験、介護教室の開催、福祉教育等
- 3 福祉授業への派遣 「知ってもらおう介護の仕事」（子持中）
- 4 学校等との交流  
こもち幼稚園（運動会の招待） 中郷小学校（運動会・七夕交流等） 子持中学校（交流会・職場体験・盆踊り大会） 子持山学園（こどもの日・栗ひろい） 渋川青翠高校（交流会）
- 5 ヨガ教室の実施 159回 延1,126名参加

○養護老人ホーム 春日園 定員 50名 短期 3名

養護老人ホームは、自立から介護度 5 までの入居者が、季節を感じる壁面飾り作りや、個々の要望に応じた個別ドライブ、外食を実施した。又、自立の入居者様はジャガイモやサツマイモ植え、梅もぎ、タケノコほり、お茶摘みといった行事を通して季節感を味わって頂いた。毎月 2 回実施している喫茶では、入居者様を交えて、すいとん作りや、昔懐かしい映画を上映し、ゆったりとした時間を過ごして頂いた。

[利用者状況] (R2. 3. 31 現在)

- ・利用者延名数 【本体 15,385 名 短期 24 名】
- ・入退所 【本体】新規入所 4 名 退所 7 名 (社会福祉施設 1 名 特養 1 名 死亡 5 名)
- ・稼働率 79.65%  
【本体 84.07% (1 日あたり 42.03 名) 短期 0.02% (1 日あたり 0.06 名)】
- ・在園期間 【本体】平均 8 年 6 ヶ月 (男性 6 年 2 ヶ月 女性 10 年 3 ヶ月) 最高 35 年 2 ヶ月
- ・年齢 【本体】平均 82.0 歳 (男性 76.9 歳 女性 85.7 歳) 最高 102 歳
- ・要介護度 自立 8 名 要支援① 6 名 ② 2 名 要介護① 9 名 ② 7 名 ③ 8 名 ④ 4 名 ⑤ 2 名

[その他]

- ・オンブズマンの訪問を受けた (2 ヶ月に 1 回) ・毎朝のラジオ体操、盆踊りの練習。 ・園外ドライブの実施 (ポップサーカス鑑賞等) ・ジャガイモ、サツマイモ堀、焼き芋 ・書道教室 (月 1 回)、体操ボランティア (月 1 回)

○特別養護老人ホーム春日園 定員 70名 短期 10名

入居者の平均要介護度は 4.2 と高いままで医療的ケア (胃ろう・喀痰吸引・尿カテーテル・在宅酸素等) と看取りケアの重要性が増している。また、毎年 20 名程度の新規利用者がいて、その利用者の状況把握や課題分析 (アセスメント) にも多くの時間を費やす結果になっている。そんな中でも、昨年引き続き群馬県老人福祉施設協議会主催の介護チャレンジにおいて 2 組の事例発表 (『笑顔で過ごす為の認知症ケア』『苦痛を和らげるケアを目指して』) を行い、1 組が優秀賞を受賞した。

感染症について、8 月に疥癬罹患者が数名出てしまったため、施設内の一斉消毒と清掃を全職員で行った。新型コロナウイルスについては、感染拡大に伴い、感染予防会議を数回開催し、マニュアルを作成して感染予防に努めている。

その他、9 月に行われた指導監査では、特養の入所定員における措置入所者の扱いについて見解の相違があり、特養定員 70 名に措置入所者 2 名を含むようにとの指摘あり。現在はそのように対応している。

[利用者状況] (R2. 3. 31 現在)

- ・利用者延名数 【本体 25,564 名 短期 3,010 名】
- ・入退所 【本体】新規入所 21 名 退所 21 名 (医療機関 6 名 死亡 15 名)
- ・延べ入院者数 【本体】1,473 名 (1 日あたり 4.02 名)
- ・延べ外泊者数 【本体】2 名
- ・稼働率 92.5%  
【本体 94.24% (1 日あたり 65.96 名) 短期 82.24% (1 日あたり 8.22 名)】
- ・在園期間 【本体】平均 3 年 2 ヶ月 (男性 3 年 3 ヶ月 女性 3 年 2 ヶ月) 最高 17 年 5 ヶ月
- ・年齢 【本体】平均 85.2 歳 (男性 79.4 歳 女性 87.5 歳) 最高 104 歳
- ・要介護度 【本体】平均 4.2 (構成比: 要介護③ 15.7% ④ 45.9% ⑤ 38.4%)

[その他]

- ・オンブズマンの訪問を受けた (2 ヶ月に 1 回) ・看取りケア 令和元年度 6 名

【総括】

課内での業務引き継ぎ、情報共有の徹底、経費節減の対策、業務開発及びチームワークの向上に努めました。

職場環境改善プロジェクト推進事業であるヨガ教室では、今年で3年目を迎え、今年度は159回、延べ1,126人の方にご参加頂きました。地域貢献事業として多くの方々にご参加、ご好評を頂いております。又、委員会の研修では2月に2回開催し職員のメンタルヘルスケアとしてマインドフルネス瞑想ヨガを実施致しました。

次年度も引き続き、積極的に研修等に参加し自己研鑽をはかり、春日園の窓口としての責任ある対応と業務管理に向けて知識技術の向上を図っていききたいと思います。

令和元年度計画	達成度	コメント
<p>【重点目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・法人の目指す方向を意識した実践行動と責任感の醸成</li> <li>・安心して働ける環境作りのための実践行動</li> <li>・ワークライフバランスに配慮した働きやすい職場環境づくり</li> </ul> <p>1・法人の目指す方向を意識した実践行動と責任感の醸成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・法人理念に沿った業務実践の取り組み。</li> <li>・キャリアの各段階に応じた専門性の向上に努め、組織性、社会性、倫理性のバランスを考慮し自己研鑽に努める。</li> <li>・法人内ルールを遵守し、「自ら改める組織づくり」を目指す。</li> </ul> <p>2・安心して働ける環境づくりのための実践行動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・法人内他部署との連携・協働。</li> <li>・効率化の為、業務の標準化及び情報共有化の促進を図る</li> </ul> <p>3・ワークライフバランスに配慮した働きやすい職場環境づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・仕事には期限があり目標は常に時限的である為タイムマネジメントにつとめる。</li> <li>・職員が心身ともに健康に過ごせる職場環境づくりを心掛ける。</li> </ul>	<p>△</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人の目指す方向は、法人理念に込められたメッセージを読み解き理解することから始まり、それにより具体的な実践行動に結びつくがまだそこまで到達できていない。</li> <li>・安心して働ける環境作りの実践行動は、職員が不安に陥ることなく業務ができるよう情報の共有化、指示、伝達が行き届いた環境が必要です。心身の不調等から離職につながることを防ぐために、それぞれの役割の方々に働きかけ環境整備への道を模索したいとの思いがあるが難しい状況。継続して取り組んでいく。</li> <li>・仕事、生活のどちらもバランス良い取り組みが心身の健康維持につながることを課内皆で共通理解し業務に取り組んでいる。</li> </ul>
<p>【事務処理】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・迅速確実な事務処理、業務の効率化を図る</li> </ul>	<p>△</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・効率化のためには、業務を決められた仕組みの中で行う「業務の標準化」をすることが大切で、それによりムダ、リスクが減り迅速確実な事務処理が可能になる。</li> <li>しかし、業務にルールや仕組みがなく、やるべきかの是非、やってよい事かの善悪の判断は各々が都度行う無秩序化状態が組織風土としてあるように思われる。</li> </ul>

		<p>それぞれの業務についての「決められた仕組み作り」までは及ばず、検討が必要。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・そのような中、ご利用者預かり金、証憑類処理の手順について一連の作業工程を洗い出し、統一した手順でできるよう整備を行った。</li> </ul>
<p><b>【物品管理】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ユニフォーム、日用品等の在庫管理を行う。</li> <li>・施設設備の入れ替え・修繕の対応・業者交渉と経過報告を行う。</li> </ul>	○	<p>経過報告が出来ていない。</p> <p>物品破損報告書だけでなく新たに購入依頼書と修理依頼書を作成し用途にあった書式を導入。修理依頼書で経過報告までできる書式を作成し改善できた。</p> <p>コロナ対策での日用品（マスク・手袋）の在庫管理を徹底した。</p>
<p><b>【労務管理】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・退職共済、勤怠、労災対応及び、休業関連の事務処理を合理的に行うため、職員間での業務周知を図る。</li> <li>・マイナンバーの収集・保管管理業務一括委託先への事務手続き、及び職員への周知徹底を行う。</li> <li>・2019年4月より働き方改革関連法施行の為、該当職員の年次有給休暇年5日取得義務化への周知を行う。</li> <li>・新人研修の準備・補助。</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・育児休暇関連事務3件対応</li> <li>・入職時、マイナンバー登録を滞りなく行えた。（社会保険加入手続き）</li> <li>・6月に勤次郎ソフトのバージョンアップを行い法改正に合わせた有休管理表を整備した。</li> <li>・7月に新人研修にて勤次郎の説明も含め実行できた。</li> </ul>
<p><b>【経費節減】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水道光熱費の削減の推進、職員への周知徹底を図る。</li> <li>・経費削減の為、使用方法の見直しや購入商品の価格交渉、商品比較検討、情報収集を行う。</li> </ul>	△	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10/25 デマンド研修を実施し職員周知に努める。今期8月にデマンド値がオーバーしてしまい目標達成出来なかった。（152→154）</li> <li>・現在のオリックスの電気料金の見直しを行う為、他社との合見積りを取り比較検討中。（毎年11月更新）現状、最安値を確認済。</li> <li>・ウイルスソフトの更新時に価格を見直しリコーからコーワパートナーズに変更。1台年間2,000円弱削減。（33台分）</li> </ul>
<p><b>【ホームページ管理】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページ更新業務の管理を行う。</li> <li>・ホームページ上に情報公開を新たに追加する。</li> </ul> <p>①財務状況 ②地域における公益的取り組み ③求人案内に職員からのメッセージを掲載</p>	△	<p>求人案内に職員からのメッセージを掲載できなかったが企業PRシートを採用情報欄に掲載した</p>
<p><b>【職場環境改善プロジェクト推進】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の心緩和ケア・腰痛予防対策、また地域貢献事業として多目的ホールを開放しヨガ教室を開講。</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委員会としてのヨガ研修を2月2回実施。</li> <li>・外部の方の参加人数は曜日ごとに固定されてきており安定している。今後も職員の方を中心とした新たな参加者を増やせるよう努めていく。</li> <li>・男性の方の参加も呼びかけ試験的に男性だけの日を設け実施した。</li> </ul>

<p>【預かり金管理】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・成年後見人制度の活用</li> <li>・月1回の預り金開示</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成年後見人制度利用者は現2名。今後も相談課と連携し対象者対応していく。</li> <li>・月1回の預り金開示を行った。</li> </ul>
<p>【財務管理】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・予算、決算書の作成</li> <li>・予算管理（執行状況の把握・支出検討・情報提供）</li> </ul>	△	<p>予算管理（執行状況の把握、情報提供）については、月次試算表の提出が遅れてしまった。</p>
<p>【モラル】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会人としての節度ある行動、言葉遣いを心がけ、思いやりのある、ポジティブな明るい職場作りを目指す。</li> <li>・仕事上知り得た、御利用者様、職員に関する情報や業務施設関連情報について守秘義務を遵守する。</li> </ul>	○	<p>節度ある行動、言葉遣いを心がけ、仕事上知り得たことについて守秘義務を遵守し、取り組むことが出来た。</p>
<p>【特記事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職場環境改善プロジェクト推進事業ヨガ教室の開講 159回実施 延1,126人 (内訳：職員247人、外部879人、20～70代までの方が参加)</li> <li>・委員会ヨガ研修 2回実施 39名参加</li> <li>・働き方改革法案対応（有休管理簿の作成）</li> <li>・参議院議員通常選挙・群馬県知事不在者投票対応</li> <li>・会計事務研修、PC研修他</li> </ul>		

達成度 ○できた △あまりできなかった ×実施していない



令和元年度事業報告（生活相談課）

【総括】

生活相談課としては概ね計画を達成することができております。

利用管理について、特別養護老人ホームでは年間で退所者が21名、入所者が21名であり入退所が多い状況が続いております。また昨年9月の指導検査において指摘されました特養の入所定員について措置入所者2名を定員70名に含める（それまでは定員70名+措置入所者2名の72名で稼働）ことになり12月より対応を開始しております。養護老人ホームも措置利用者が減少しており年間の平均利用者数は42名でした。令和2年5月より養護定員を40名で対応しております。

令和元年度計画	達成度	コメント
相談援助の向上	○	・外部研修へ参加、相談課内での情報の共有や相談・伺いをおこなう事で個々の相談員としての相談援助の向上に繋げております。
個別援助の充実	○	・養護では利用者の出来る事・希望することを実現する為に個別外出の機会をつくる等の援助を行っております。 ・特養では要介護度の重度化した利用者に対してのケアプランでいかに個別性をもてるのかを相談・検討しております。
利用管理	△	・特別養護老人ホーム稼働率が92.5%で目標の96%を達成できませんでした。 ・養護老人ホーム利用者の平均利用者数が42名で、目標年平均49名に遠く及ばない結果になりました。
慰問やボランティアの受け入れ	○	・音楽慰問や体操ボランティアの定期的な受け入れを行っています。地域の学校（小・中・高）の交流会も可能な限り調整し受け入れを行っています。
家庭的な雰囲気づくり	○	・施設内壁面の写真を季節ごとや行事ごとに張り替えることを行っており、利用者や家族からも大変好評でした。 ・雛人形・五月人形・七夕、冬季にはイルミネーションを飾る等、季節感を感じられるような環境を提供いたしました。
地域包括ケアシステムへの取り組み	○	地域包括ケアシステムにおける特別養護老人ホームの位置付けである高齢者の特養への入所、ショートステイの利用など積極的に受け入れております。
【特記事項】		

達成度 ○できた △あまりできなかった ×実施していない

令和元年度事業報告（支援課）

【総括】

多々の問題点が浮き彫りになり、課内で問題は問題と捉え討議をしてきたが解決に至らずに年度末を迎えてしまった。

令和元年度計画	達成度	コメント
個別支援 自立支援	○	園内外の個別支援については計画と実施ができました。今後の課題については対象者が偏りがちになる為ポジティブプランを計画し実行していく。
チームワークの向上	△	問題点を挙げて検討する事が進められたと考察します。 改善点が多くあった為現状が標準化になっていない。 今後は風通し良くチームで働く事の意味を認知して行く事を進める。
自己学習を通し、共有することで全体のスキルアップ	△	研修の参加がままならず自己学習に頼る部分がありましたが、他者の知識に耳を向ける姿勢はあるので今年は積極的な学習姿勢を取って行きたい。
基本姿勢の徹底 基本業務の徹底	△	「心をひらく」という意味での挨拶に近づけていると思います。人員配置が不足で業務の流れについての行き違いが生じた時期もあり、変更の余地もある状況です。動きやすさも考慮し作成しなおします。
【特記事項】		

達成度 ○できた △あまりできなかった ×実施していない

令和元年度事業報告（介護課）

【総括】

利用者様の生活環境作りを重点課題とし取り組んだ中で居室内の整理整頓及びベッド周りを中心に気かけ実施した。また、家族の要望及び利用者様が望む事を実施できるよう多職種連携を図りながら取り組む事が出来た。人材育成については、介護チャレンジ2019に2組4名参加し1組が優秀賞にて関東ブロック大会参加の権利を獲得することが出来ました。褥瘡の予防・改善においては、減少傾向ではありますが0名まで至らず引き続き改善方法を考え取り組んでいく。

令和元年度計画	達成度	コメント
利用者様の安全で安心した生活環境作り	○	担当利用者様の環境整備を継続して実施していく。 季節感や思い出を感じて頂ける様にホールのカレンダー作成を利用者様と一緒に作成出来た。 喀痰吸引を必要とする利用者増加しているため継続して技術向上に努めていく。
家族との連携	○	ご家族と職員が協働することで利用者様が望む支援が可能となり食事低下の方が見られたら利用者様の望む食べたい物を提供したり出来た。終末期を迎える利用者様の支援を出来る範囲で家族の要望に応える支援が出来た。
介護現場における人材育成を図る	○	介護チャレンジに2組4名が参加し1組が優秀賞となり関東ブロック出場の権利を獲得。チームケアの実践をした事で介護職員としての育成・気づきの育成に繋がった。
働きやすい環境作り	○	有休が取れる環境が出来た事で職員のフレッシュに繋がった。 妊娠中の職員の配置及び休暇等フローごとと負担軽減に職員同士が考え協力体制を築けた。
褥瘡の予防、改善の強化	△	褥瘡率・発症率を月ごとに統計としてだしている中で減少と増加の繰り返しとなり年間を通じて横ばい傾向となった。減少させるには改善点を見つけ着手する必要がある。 また、足の褥瘡率が上がってしまったため検討課題として改善強化となった。
【特記事項】		

達成度 ○できた △あまりできなかった ×実施していない

令和元年度事業報告（医務課）

【総括】

現在、新型コロナウイルスが大流行し、当施設でもウイルスを持ち込まないように、感染マニュアルに沿って予防・対策にあたっています。最近では感染数が減少し、だんだん終息に向かっていているように思いますが、施設でのクラスターが発生しないように今一度、職員は気を引き締めてコロナ対策に取り組んでいきたいと思っています。

コロナの陰に隠れてしまっているがインフルエンザ・ノロウイルスについては日頃の予防対策によって1人の感染を出すことなく送ることが出来ました。

令和元年度計画	達成度	コメント
利用者様が健康で快適に過ごし、安心して生活できる。	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者様を常に観察し、病気の予防に努める看護が行えた。</li> <li>・医療ニーズが高い利用者様は配置医や協力病院と連携を取り、施設で治療可能であれば医療ケアを施行し、入院が必要であれば病院へ繋げることが出来た。</li> <li>・職員1人1人が感染予防に意識を持ち、対策を徹底。利用者様のインフルエンザ・ノロウイルス感染はみられなかった。</li> <li>・看取りケア（特養6名・養護1名）「終の棲家」として安心・安楽な時間を過ごしてもらえるように各課と連携を取りながら看取りケアが行えた。また、看取り開始時期は配置医と相談し、本人や家族の思いを配慮し、安らぎある看取りケアを提供することができた。</li> </ul>
褥瘡発生ゼロに向けて各課と連携し、褥瘡予防に取り組んでいく。	△	<ul style="list-style-type: none"> <li>・褥瘡有症者の評価スケール(DESIN-R)を10日おきに評価ことにより、創の状態、治癒過程を客観的に判断し、早期治癒に努めることが出来た。</li> <li>・褥瘡に対する知識や技術、意識を高めてもらう為、委員会と協力し園内研修を実施した。(R元年7月16日)</li> <li>・前年度比べ、褥瘡率・発症率は少しずつ減少し、一時ゼロになった月もあった。今後も「褥瘡ゼロ」へ向けた予防活動を続けていかなければならない。</li> </ul>
看護・介護の知識や技術の向上のためにも定期的な研修を行う。	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・救急時に適切な判断ができるように、救急時の対応・AED研修を園内で実施し、実技講習が行えた。(R2年2月21日)</li> <li>・喀痰吸引認定書の交付申請が出来るように、介護職員に実施研修を行っている。(50回×4名)</li> <li>・新人スタッフへの医療的知識や技術研修(喀痰吸引・経管栄養等)を定期的に行えた。(H31年・4月30日)</li> </ul>
【特記事項】		

達成度 ○できた △あまりできなかった ×実施していない

令和元年度事業報告（栄養課）

【総括】

給食の業務委託により、給食業務の安定化を行えたことで、各種行事へのサービス提供の充実を図る事が出来ました。石本商事様のご協力があり行事食の提供も十分に行え、利用者様の満足度も高かった様に感じます。

利用者様参加型の行事を行う事で、『食』を通じてコミュニケーションの場を持てたと思います。また、『地産地消』という事で、地元の方々のご協力を頂き旬の食材を利用者様へ提供する機会が持てました。

課題として残る部分はありますが栄養課・石本商事様との協力体制をより高めていき、1つ1つ挑戦し達成していきたいと思います。

令和元年度計画	達成度	コメント
楽しみある食事 健康食の提案 行事食の充実	○	令和元年3月からふき・たけのこは給食での提供から養護喫茶の提供にしました。収穫量に左右されることなく無理なく実施できました。いなだの解体ショーは店長の移動等があり昨年度から握り寿司に変更しています。
衛生管理の徹底！	○	委託業者のご協力により、事故なく衛生管理に努める事が出来ています。
防災意識の向上！ 日頃から備える。	△	マニュアルが未作成です。非常食は賞味期限が切れるものから購入予定です。
個別対応 利用者ニーズの把握	○	特養利用者様において軽作業参加（1日団子作り）を栄養ケア計画に導入しており、相談課協力の下実施できています。軽作業ができる人自体は少なくなっています。
委託業者との連携	○	令和元年10月ムース食導入。軟菜も漬物から導入しています。
元気な挨拶・笑顔 作業効率・チームワークの向上 規則正しい生活環境 リズムを整える	○	各自の担当業務を明確にし、行事の対応を担当制にする事で、責任性や対応力の向上に繋がりました。 ムリの無い勤務体制とし休暇をしっかりと取る事で、仕事への意欲向上となりました。
地産地消 地域交流	○	地域の方々のご協力により地産の食材を使用し、利用者様へ旬の味覚を味わって頂く機会を持つ事が出来ました。
<p>【特記事項】</p> <p>&lt;地産地消協力者様&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・津久井京子様（いちご）</li> <li>・後藤伸作様（すいか・びわ）</li> <li>・目崎りんご園：目崎松雄様、目崎花子様（りんご）</li> <li>・生方農園：生方修様（こんにゃく）</li> <li>・雙林寺：石附正賢様（蒟、筍、梅、栗）</li> </ul>		

達成度 ○できた △あまりできなかった ×実施していない

【総括】

個々の特性を踏まえながら、ケアプランに基づき作成した介護計画に沿って支援を実施することができ、職員一人一人が利用者様に『より良いサービス』『楽しんでいただけるサービス』を考えて提供することができた。一方で空き情報を提供し利用率向上に努め、前年度より稼働率を上げることができたものの『経営の安定化』で上げた目標に達することはできなかった。

元年度計画	達成度	コメント
① 経営の安定化 ・ 1日平均7名以上を目標とする。 ・ 通院等で休みがあった場合振替利用を勧める。 ・ 空き情報を提供し利用率向上に努める。 ・ 利用者様の状況に応じた区分変更をお願いする。	△	一日平均7名以上を目標としたが、達成できなかった。 (平均6.69名)
② 対応の個別化 ・ 利用者様の能力をできる限り活かし、自立した生活が継続できるように支援する。 ・ 個々の意志を尊重しそのひとらしい在宅生活を送れるように支援する。 ・ 家族や介護支援専門員と連絡をとり、ニーズを把握できるように努める。 ・ 通所介護・介護予防計画に基づいた支援を行う。	○	個々の介護度、身体状況に応じた入浴・排泄介助を行えた。 個々のニーズの把握に努め、介護計画・介護予防計画に基づいた支援を行えた。 機能訓練指導員による機能訓練を取り入れることができた。(週1回)
③ 利用者さまへの介護サービス・健康管理。 ・ 入浴サービス ・ 排泄援助 ・ 機能訓練 ・ 食事に関するサービス	○	個々の介護度、身体状況に応じた入浴・排泄介助を行えた。 自立可能な部分は、自力で行なっていたが、筋力低下防止に努めた。
④ 活動プログラム ・ 意志を尊重し個々の状況に合わせた活動の提供。 ・ 四季を感じられる行事。 ・ 園芸療法・作業療法・学習療法 ・ 春日園の行事等にも参加する。	△	利用者様個々の状況に合わせ、作業療法が行なえたが、畑作業は行なえなかった。 お花見・七夕・節分など四季の行事を行えた
⑤ 事故防止・苦情解決 ・ 利用者様の立場に立ち対応する。 ・ 苦情内容を把握し、前向きに取り組み分析見直しを行う。 ・ 利用者様・ご家族に対して十分説明を行う。	○	大きな事故を起こすことなく過ごしていただいた。
⑥ 防災訓練 ・ 年2回の防災訓練を行う。  (5月・11月)(通報・消火・避難誘導)	○	6/6・12/20通報・避難・消火訓練を実施。
⑦ 専門力向上の研修計画	○	7/16 褥瘡研修 8/22 接遇マナー研修 26 事故防止研修 11/14 インフルエンザ手洗い研修 12/16 身体拘束研修 などに参加

⑧ 実習生の受け入れ	○	吾妻中央高校・各種学校より、のべ4名の実習を受け入れた。																		
⑨ 運営推進会議の開催	○	第1回・5 / 10開催 第2回・11 / 5開催																		
<p>【特記事項】</p> <table border="0"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平均介護度</td> <td>1.81</td> <td>2.16</td> </tr> <tr> <td>開所日数</td> <td>256日</td> <td>258日</td> </tr> <tr> <td>延べ利用人数</td> <td>1,447人</td> <td>1,727人</td> </tr> <tr> <td>平均利用人数</td> <td>5.65人</td> <td>6.69人</td> </tr> <tr> <td>稼働率</td> <td>62.8%</td> <td>74.3%</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">(2.3 / 31現在)</p>				平成30年度	令和元年度	平均介護度	1.81	2.16	開所日数	256日	258日	延べ利用人数	1,447人	1,727人	平均利用人数	5.65人	6.69人	稼働率	62.8%	74.3%
	平成30年度	令和元年度																		
平均介護度	1.81	2.16																		
開所日数	256日	258日																		
延べ利用人数	1,447人	1,727人																		
平均利用人数	5.65人	6.69人																		
稼働率	62.8%	74.3%																		

達成度 ○できた    △あまりできなかった    ×実施していない

令和元年度事業報告（かすがホームヘルパーステーション）

【総括】

今年度は施設内、在宅のご利用者の増減（死去、他施設入所など）が前半、後半に多くあったが、事業収入の安定維持はできた。今後は養護施設定員減に伴い、サービスの見直しや外部訪問を増やすなどして事業収入の安定を図っていききたい。

また、福祉有償運送事業は運転手の増員に伴い通院等乗降介助と合わせた稼働で利用回数や運送収入が増加できたと共に、地域貢献事業の実施を行う事ができた。

今後も安定した事業収入の確保や、特定事業所加算に見合うサービスを提供できるように努めていききたい。

令和元年度計画	達成度	コメント
事業収入の安定	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設、在宅のご利用者数の増減と共に事業収入も増減して現状維持。</li> <li>特定事業所加算体制は維持継続。</li> <li>施設ご利用者への適切な訪問回数の確保。 （夜間訪問への支援員兼務ヘルパーの稼働継続）</li> </ul>
職員とサービスの質の向上	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>ヘルパー定例会議や定期的な研修の実施と各委員会主催の研修に参加してサービスの質の確保に努めた。</li> <li>支援課、医務課とご利用者の状況把握や情報共有の機会を増や事が出来た。</li> <li>外部研修への参加が消極的で今後の参加機会の確保が課題。</li> </ul>
地域包括センターとの連携と地域貢献	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>福祉有償運送事業についてはご利用者数の増加、運転者の増員と通院等乗降介助を合わせた稼働を行ない、回数・運送収入が増加した。 （H30年：利用人数 16名 延 170回 ¥137,070） ↓ （R1年：利用人数 24名 延 402回 ¥410,120）</li> <li>訪問介護と合わせた通院等乗降介助の算定を継続。</li> <li>引き続き、地域高齢者の身近な足としての機能を果たし地域に貢献していく。</li> </ul>
【特記事項】		

達成度 ○できた △あまりできなかった ×実施していない



【総括】

今年度も5名体制にて業務が実施できた。今年度、3名のケアマネが主任ケアマネを取得し、当居宅介護支援事業所全員が主任ケアマネとなった。

自立支援型地域ケア会議に当事業所のケアマネも事例提供者となった他、他のケアマネも会議を見学することにより、自立支援型地域ケア会議の方法を学ぶことができた。利用者数の増大と共に、利用に当たり同法人のヘルパーステーションやデイサービスやショートステイ利用の提案をおこなってきた。各地域包括支援センターからの新規依頼があった場合には、協力できるように心がけた。病院からの退院者の新規依頼の割合も多くなり、医療機関との連携やターミナルケアの必要性を感じた。依頼のケースについては、迅速な対応に努めてきた。引き続き、利用者及び家族の思いに対応できるような支援に心がけていきたい。

令和元年度計画	達成度	コメント
地域連携活動	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療機関、サービス事業所等と連携や情報交換を図り対応する事ができている。</li> <li>・市主催の地域包括ケアシステムの取り組みの1つである「自立支援型地域ケア個別会議」に、当事業所からも事例提供者として会議に参加し、自立支援を目指すケアマネジメンの理解を深めることができた。</li> <li>・自法人の事業所の有効活用を図りケアマネジメンを実施する事が出来ている。</li> </ul> <p>※法人割合：令和2年3月時点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・かすがヘルパー：72.6% ・デイサービス春日の家：66.7%</li> </ul>
利用者サービスの質の向上に向けてのケアマネジメン事業の充実	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当利用者数：令和2年3月時点 要介護：144名、要支援：38名</li> <li>・養護利用者は、35名を担当。</li> <li>・渋川市のケアマネ研修等知識習得の為、積極的な研修へ各自が参加してきている。</li> <li>・特定事業所加算算定に伴い、他事業所との共同事例検討会を年2回（9月・11月）実施した。</li> </ul>
職員の資質向上を目指す	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・渋川支部圏域の会議に参加し、他法人とケアマネとのコミュニケーション、情報共有が図れている。</li> <li>・群馬県介護支援専門員協会主催のケアマネジメン群馬フォーラムへの参加（3名）をしており、ケアマネジメン実践に関する総合的かつ横断的な話題や最新の知識を学ぶこと等を通して介護支援専門員個々の資質やスキルの向上が図れた。</li> </ul>
【特記事項】		

達成度 ○できた △あまりできなかった ×実施していない

令和元年度事業報告（小野上・子持地域包括支援センター）

【総括】

包括受託2年目を終え、その中で関係機関や地域の方への周知に力を入れてきた。特に実態把握としてひとり暮らしの方を訪問（104件）し、地域の相談窓口である旨を説明。今後も地域に根差した機関として事業展開を図っていきたい。

令和元年度計画	達成度	コメント
子持・小野上地域包括支援センターの機能周知	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関への周知活動は年度当初より定期的および適宜実施</li> <li>・今年度はサロンへ重点的に出向く予定であったが結果としてはサロン従事者との都合等が合わず3件であった</li> <li>・外部での講話や介護教室を開催する事で広く周知を図れた</li> </ul>
認知症普及活動	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度より地域に出てより多くの方に参加して頂くことを目的として子持、小野上各福祉センターにて教室を開催</li> <li>・小学校を対象として認知症の理解を深めるため学びの講座へ参加し寸劇を披露</li> <li>・全包括協力の元、市内での徘徊訓練へ参加 市民に対し認知症や見守りに対しての普及活動また、意見交換などを実施</li> </ul>
包括的、継続的ケアマネジメント支援業務	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケア会議を8回開催し虐待、困難事例ケースの支援方針を協議</li> <li>・地域のケアマネ相談窓口として相談に応じるだけでなく、同行訪問、会議への参加を図る</li> <li>・直営および委託事業所の請求業務を実施 チェック不足、管理不十分により返戻等が発生してしまった事があり、今後の反省課題として上げられる</li> </ul>
総合相談支援業務	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談件数としては147件（延べ相談は未カウント）</li> <li>・早期にサービスへ繋げる事が必要なケースが何件もあり、その際は居宅春日園と連携し支援する事が出来た</li> <li>・民生委員からの相談が今年度も多く、関係構築は良好</li> <li>・虐待通報は3件あり確認を含め対応（虐待判断は0件、虐待に準ずる対応は2件）</li> <li>・多岐に渡る相談に応じられるよう自己研鑽を図る為、28種36回の研修へ参加</li> </ul>
介護予防に伴うケアマネジメント業務	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・R2.3月末時点で圏域の要支援者（103件）の約30%を直営にて担当</li> <li>・予防従事可能職員が現在2名であり、R2年度は3名で対応可能予定であり、直営担当率35%程度を目標とする</li> </ul>
研修参画	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4回のケアマネ研修を参画（内1回は書記を担う）</li> <li>・11月には自立ケア会議への事例提出、また12月はスーパーバイズ研修を当事業所が参画主体として開催</li> </ul>
【特記事項】		

達成度 ○できた △あまりできなかった ×実施していない

令和元年度事業報告（売電）

	電力量	売電額	*事務所内モニターより
令和元年度	4月	7,461	201,414
	5月	8,703	234,960
	6月	6,509	175,708
	7月	5,207	140,563
	8月	6,823	184,200
	9月	5,778	155,976
	10月	4,818	130,055
	11月	4,821	130,154
	12月	4,110	110,963
	1月	4,675	126,197
	2月	5,999	161,964
	3月	6,586	177,814
	計	71,490	1,929,968
	30年度	4月	7,432
5月		7,602	205,244
6月		7,055	190,459
7月		7,863	212,274
8月		7,143	192,836
9月		4,601	124,197
10月		5,350	144,428
11月		4,877	131,652
12月		4,401	118,817
1月		5,345	144,286
2月		5,674	153,191
3月		7,137	192,671
計		74,480	2,010,691
29年度		4月	7,384
	5月	7,724	225,231
	6月	7,561	220,478
	7月	8,132	237,129
	8月	5,197	151,544
	9月	6,293	183,503
	10月	5,014	146,208
	11月	4,672	136,235
	12月	4,875	142,155
	1月	5,065	147,695
	2月	4,898	142,825
	3月	7,000	204,120
	計	73,815	2,152,440